

第 47 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：2026 年 3 月 16 日（月）13：00～15：00

場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」（3 階会議室）



<議題>

1. 河川環境、河川利用・維持管理に配慮した川づくりについて
2. 地域団体との連携について

<主な意見>※（ ）の記載が無い場合は、夕張川流域会議メンバーの発言

1. 河川環境、河川利用・維持管理に配慮した川づくりについて

河道掘削箇所の工事後のモニタリング結果を報告するとともに、今後、下流掘削箇所と清幌床止におけるモニタリング調査、ショウドウツバメ営巣地对岸における今後の工事計画を説明した。また、清幌床止では今年度を実施した夕張川の魚類調査結果について概要を説明した。事務局からの説明内容に対する意見や要望等は次のとおり。

（1）ショウドウツバメ営巣地对岸について

- ・当該箇所は現状では融雪時の攪乱が想定より小さく、樹林化してしまう状況である。一方で、河道が固定化し、外岸側が削られて新たな崖地が更新されていく可能性があり、この状況はショウドウツバメの営巣環境の維持につながると思う。
- ・ショウドウツバメの観察利用と営巣環境保全のどちらを重視するかについては、目的を整理したうえで整備方針を検討することが重要である。夕張川においてショウドウツバメが継続的に営巣できる場所は限られていること、北海道だけで繁殖する鳥であることを踏まえ、本箇所については保全を重視した対応を行ってほしい。
- ・ショウドウツバメの観察は主に水際で行っている。スロープの降り口は、自然体験プログラムとして以前はゴムボート乗り場に利用していたが、近年はコウモリ観察ポイントとして毎年必要に応じて草刈りと樹木を伐採している。

（2）下流掘削区間について

- ・樹林化の進行を抑制するためには、掘削後、ヤナギが小さい初期段階で引き抜き等の対策を行うことが重要である。一方、河川管理者による機動的な工事対応には限界があるため、河川協力団体を活用し、初期段階での対応を行う仕組みを検討するとよい。

- ・下流掘削区間のような高層湿原を掘削してつくられた新水路では、地下水の染み出しによる水たまりが形成されている。水たまりにはスゲ類が生育するなど、良好な環境が形成されているため、こうした環境特性を踏まえた管理が望ましい。

→掘削敷高の設定などは難しく、すべてが想定どおりに進むとは限らないため、施工後の状況を踏まえながら柔軟に対応していくことが必要である。河川協力団体による初期段階での対応は有効であり、今後も連携して取り組んでいくことが望ましい。(江別河川事務所)

- ・湿地環境ではヤナギは先駆種として侵入することから、ヤナギの侵入を前提とした河道計画を検討する必要がある。これまでの取組については、対策の結果を評価し、次の対応につなげる改善の視点が重要であり、掘削手法についても、反省を踏まえながら段階的に見直していくことが望ましい。

→対応策へのご指導やご助言など、引き続きご協力をお願いする。(江別河川事務所)

2. 地域団体との連携について

参加者より各地域団体の今年度の活動および取組状況について報告するとともに、河川の利活用や河川事業への改善要望を発言いただいた。

流域生態研究所

- ・夕張川ではカワヤツメのほか、サケやサクラマスの上上が確認されており、良い川づくりを進めることで遡河性魚類が回帰してくることが分かってきた。魚道の機能維持を含め、引き続き環境整備を進めるとよい。

おっ鳥クラブ

- ・NPO 雨煙別学校では河川指導者講習会を継続して実施しており、今後も環境学習の場として河川を活用していきたい。また、栗山ダム上流広場のトイレについては、環境学習の効率化の観点から再度利用できる状況にすることを検討してほしい。
- ・樹木伐採箇所④は「おっ鳥クラブ」の観察活動に利用されているため、伐採を行う際は関係者と連携しながら進めたい。

空知総合振興局 札幌建設管理部 長沼出張所

- ・栗山ダム上流広場のトイレのような施設のあり方については、北海道としても検討を進め、必要に応じて予算要求を含めた対応を検討していきたい。また、かわまちづくりや回遊性魚類の保全については、関係機関が連携して取り組むことが重要である。引き続き、関係機関と連携して河川事業に取り組んでいきたい。

夕張川自然再生協議会

- ・サケの稚魚放流を継続して実施し、流域住民にも関心を持ってもらえるような取組を進めていきたい。

栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会

- ・過去の夕張川の状況や歴史を踏まえ、かつてはサケが多く遡上していた可能性も考えられる。今後は農業とも連携し、河川の歴史・文化も含めた取組を進め、地域で情報を共有しながら町民・市民を巻き込んだ活動を行うことが望ましい。

河川協力団体 株式会社エコテック

- ・幌向再生地において環境学習等の取組を行ってきた経験から、治水と環境の両立に向けては、継続的かつ適切な維持管理が重要であると感じている。
- ・流域会議においては、①湿原の保全・再生の推進、②次世代へつなぐ取組への配慮、③生態系ネットワークに資する小規模な自然再生活動といった点にも目を向けていくことが望ましい。

水土里ネット由仁（由仁土地改良区）

- ・農業用水として夕張川の水を利用している立場であり、水質改善の効果を踏まえ、今後も排水をきれいにする取組を続けるとともに、学校教育を通じて水の大切さを伝えていく取組を行っている。今後も取組を継続していきたい。

空知総合振興局 札幌建設管理部 岩見沢出張所

- ・雨煙別川では治水を第一としているが、護岸形状や将来的な散策路整備など、環境や利活用にも配慮した整備も進めている。今後の当会議のような場を通じてニーズを把握して河川整備に反映していきたい。

江別市

- ・地域の歴史を学ぶ学習活動に取り組んでおり、川に関しては舟運による発展について触れてきた。夕張川では環境に対する取組が多く行われていることがこの会議を通じて知ることができたため、いずれは学習には河川環境の視点も取り入れられればと思う。

岩見沢市

- ・掘削や樹木伐採について理解が深まったことから、今後の取組に活かしていきたい。

南幌町

- ・水害の経験を踏まえ、治水の重要性を地域に伝える取組を行ってきた。今後もこのような活動を継続するとともに、関係者との連携も深めていきたい。

以上

＜参加者リスト＞

分野	氏名	所属
環 境	妹尾 優二	流域生態研究所 所長
農 業、利水者	飯田 修久	水土里ネット由仁（由仁土地改良区）理事長
環 境	諸橋 淳	「おっ鳥クラブ」
N P O等	高橋 慎	栗山町ハナハツ里山計画実行委員会 実行委員長 （N P Oくりやま 事務局長）
”	土井 猛	夕張川自然再生協議会 会長
”	坂元 直人	河川協力団体 株式会社エコテック 専務取締役
行政（北海道）	佐々木 英幸	空知総合振興局 札幌建設管理部 長沼出張所 所長
”（北海道）	工藤 利忠	空知総合振興局 札幌建設管理部 岩見沢出張所 所長
”（江別市）	西山 健太郎	建設部 土木事務所治水課 課長
”（南幌町）	黒島 滋規	都市整備課 課長
”（岩見沢市）	宮井 宏幸 （代理：寺西 泰章）	建設部 建設管理課 課長
”（北海道開発局）	萬谷 俊哉	江別河川事務所長